

宮城県感染症発生動向調査情報(第27週)

宮城県【平成27年07月09日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2015.6.29 ~ 7.5 ・ 第27週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙台市 患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第24週	第25週	第26週	第27週
水痘	1 0.20	2 0.20	1 0.20				3 1.50	9 0.33	16 0.27	990	○→	○→	○→	レ
流行性耳下腺炎		2 0.20						5 0.19	7 0.12	209	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	48 9.60	26 2.60	17 3.40	16 8.00	35 11.67	29 5.80	5 2.50	194 7.19	370 6.27	13,242	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	23 4.60	78 7.80	19 3.80		10 3.33	5 1.00	1 0.50	164 6.07	300 5.08	1,156	◎→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑		4 0.40	8 1.60		4 1.33	4 0.80	1 0.50	18 0.67	39 0.66	1,322	○→	○→	○→	○
突発性発しん	3 0.60	11 1.10	7 1.40		3 1.00	9 1.80	2 1.00	23 0.85	58 0.98	976	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ		13 1.30	3 0.60			1 0.20		29 1.07	46 0.78	130	→	→	→	○
インフルエンザ						3 0.38		3 0.07	6 0.06	19,604	○→	レ→	→	
咽頭結膜熱	1 0.20	10 1.00	2 0.40		2 0.67	14 2.80		15 0.56	44 0.75	764	◎→	◎→	◎→	○
流行性角結膜炎		1 0.33	1 1.00			2 2.00		1 0.17	5 0.42	93	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64 12.80	25 2.50	12 2.40	3 1.50	2 0.67	48 9.60	1 0.50	70 2.59	225 3.81	4,384	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎							2 2.00		2 0.17	186	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症								2 0.07	2 0.03	348	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	11	5	2	1	3		1	1		◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病	1									宮城県保健環境センターのホームページ http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html			
	不明発疹症	1							4					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※										76				

今週の全数報告疾病

- ※男児、女児は6歳未満
- 1類感染症：報告なし
2類感染症：結核
仙南管内 男性1名
大崎管内 男性1名
石巻管内 男性1名(第25週)、男性1名
仙台管内 男性2名、女性1名
3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症(O157)
仙台管内 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
仙南管内 女児*1名、女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(OUT)
仙台管内 男児*1名
4類感染症：レジオネラ症
仙台管内 男性1名
5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 男性1名

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[手足口病]

大崎管内で警報継続中。
塩釜、仙台管内で警報値を超えた。

[咽頭結膜熱]

石巻管内で警報継続中。
[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙南管内で警報継続中。
石巻管内で警報値を超えた。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
伝染性紅斑患者より
気仙沼管内 第26週採取分 ヒトパルボウイルスB19 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定 報 告		
	第24週採取分 (6.8～6.14)	第25週採取分 (6.15～6.21)	第26週採取分 (6.22～6.28)
アデノウイルス	0件	0件	3件
エンテロウイルス	1件	1件	1件
サイトメガロウイルス	1件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	11件	14件	5件
パラインフルエンザウイルス4型	0件	0件	1件
ヒトメタニューモウイルス	1件	1件	2件

※仙台医療センターウイルスセンターでは、パラインフルエンザウイルス3型の分離が多い状態が継続しています。また、手足口病疑い検体から「コクサッキーウイルスA16型」が同定されています。

[手足口病]

口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行します。全国的に患者数の増加がみられます。県内でも大崎、塩釜、仙台管内で患者報告数が警報値を超えたことから、県では注意喚起を行いました。手洗い等の日常的な予防対策に努めてください。

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群 (%)											総数 (人)
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	
2015年 第24週	0.0	41.9	41.9	0.0	0.0	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	3.2	31
第25週	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7
第26週	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
第27週	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6

インフルエンザ定点

小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で95定点となりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第25週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ：定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。RSウイルス感染症：報告数は301例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。咽頭結膜熱：定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。新潟県(2.19)、北海道(1.69)、宮城県(1.32)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。鳥取県(5.53)、愛媛県(5.22)、長崎県(5.16)が多い。感染性胃腸炎：定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。大分県(15.94)、愛媛県(10.70)、宮崎県(10.50)が多い。手足口病：定点当たり報告数は2週連続で増加した。徳島県(16.09)、香川県(9.57)、山口県(7.02)が多い。伝染性紅斑：定点当たり報告数は減少した。滋賀県(2.19)、埼玉県(1.93)、大分県(1.69)が多い。マイコプラズマ肺炎：定点当たり報告数は3週連続で増加した。富山県(1.20)、香川県(1.20)、大阪府(0.71)、宮城県(0.67)が多い。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)：定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。22道府県から61例報告があり、年齢別では0歳(8例)、1～4歳(36例)、5～9歳(16例)、60代(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字:定点当たり報告数